

2021 5月

宮永岳彦記念美術館だより

発行/ 秦野市立宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室

宮永岳彦と旅にでる

2020年11月27日(金) ~ 2021年6月27日(日)

◆◆◆ 展示作品より今月の一点 ◆◆◆

《川上宗薫『傾斜面』装幀》



小説家の川上宗薫は、キリスト教の牧師だった父親の関係で、長崎で育ち、原爆で母と二人の妹を失いました。この『傾斜面』は原爆投下前の長崎での中学時代をつづった自伝的な短編小説です。

両側に大きな木が茂る石畳の坂道を下った先に真っ白な教会がそびえ、その奥には青い海が静かに佇んでいます。この美しい風景画は戦前の長崎を描いたものだと思います。

宮永の様々なジャンルにわたる画業の中で、小説の挿絵や書籍の装幀は大きな一角を占めています。当時軽視されがちだったこれらの分野ですが、宮永は「さしえにはさしえの美学がある」と画家としての矜持を持って制作にあたりました。本作品も小説の内容をくみ取り、流れるような線と爽やかな色彩で描かれた、懐かしく美しい風景となっています。

装幀原画 1970年(昭和45年) 39.5×54.5cm

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

桜坂(鶴巻温泉入口)

美術館へのアクセス



- ◆ 小田急線鶴巻温泉駅から徒歩2分
- ◆ 駐車場 弘法の里湯と共用40台
1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

5月の休館日：6日(木) 10日(月) 17日(月) 24日(月) 31日(月)

市民ギャラリーのご案内 入場無料

秦野スケッチ会

みんな違ってみんないいスケッチ展

4月29日(木・祝)~5月5日(水・祝)

10:00~17:00 (初日13:00から 最終日15:00まで)

美術鑑賞は脳を活性化するとか。私達一年のスケッチ、静物などです。それぞれ個性ある絵です。

6月の市民ギャラリー展覧会の予定

秦野写真連盟

6月8日(火)~6月13日(日)

※5月1日(土)から11月分までの予約を受け付けています。

※新型コロナウイルスの影響により、変更になる場合があります。お気軽に美術館にお問い合わせください。

宮永が、全日空の機内誌の『翼の王国』に寄せた挿絵と文章をご紹介します。

フライトギャラリー

神秘の湖(田沢湖)

(翼の王国50号 昭和48年8月より)

田沢湖は実に美しい。その瀾尻にこの泉のシンボルである「辰子」像が金色の姿を水面に落としている。

昔、この地方にいた辰子という娘が、自分の美貌がいつまでも衰えないようにと大蔵山の観音に「不老不死となしたまえ」と祈願した。その満願の夜、辰子の姿は大蛇と化し、あたり一帯は大雷雨におそわれ湖水となった。

それが田沢湖であり、辰子はその湖の主(ぬし)、大蛇と化したのである。辰子が主(ぬし)として汚れを防いだために今なお田沢湖は美しさを保ちえている。伝説にふさわしい神秘の湖である。

